

# 平成28年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	東淀川区
学校名	大阪市立新東淀中学校
学校長名	森田 昌弘

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成28年4月19日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語・数学）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上を目指しています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

## 1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査（国語、数学）

- ・主として「知識」に関する問題（A問題）
- ・主として「活用」に関する問題（B問題）

### (2) 質問紙調査

- ・生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第3学年の原則として全生徒
- ・新東淀中学校では、第3学年 222名

## 平成28年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語のA問題(主として知識)では平均正答率が73.8%(大阪府平均73.5%、全国平均75.6%)、B問題(主として活用)では平均正答率63.2%(大阪府平均63.3%、全国平均68.5%)となっており、大阪府の平均とはほとんど差がなく、全国平均は少し下回る結果となった。

数学の平均正答率は、A問題が全国に対して-7.5%、大阪市と比べて-2.2%、また、B問題が全国に対して-4.7%、大阪市と比べて-2.3%であった。分野別に全国と比較すると、すべての分野で正答率が低く、特に関数に関しては、全国や大阪市と比べて著しく低くかった。また、無回答率は、A問題が、全国に対して+2.0%、大阪市と比べて+1.1%、また、B問題は、全国に対して+3.5%、大阪市と比べて+1.3%という結果であった。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕 A問題では無解答率が全体的に大阪府平均より低く、全国平均とも大きな差はなかった。正答率でも大阪府の平均とほぼ同じであった。特に漢字や語句の知識を問う設問では、全国平均とほぼ変わりなく、全国を上回っている問題も多くあった。これは、日常生活や授業のなかで知識を身に着けるよう意欲的に努力している結果だと考えられる。その一方で、B問題では記述の設問において無回答率が高くなる傾向にあり、正答率も大阪府平均を下回っている。特に文章を読み、それについて説明文を書くという設問では大阪府平均を大きく下回っている。今後は、読んだ文章の内容を正確に捉え、それについて自分の考えを論理的に表現できる力を養わせる必要がある。

〔数学〕 正答率が全国平均や大阪市の平均と比べて低く、数学が苦手で、できない生徒が多い。調査結果から分析される課題は、特に関数や図形の分野での正答率が低いことである。また、基本的な計算をする技能が定着していないため、図形や関数においても、知識と処理を両方必要とする問題を正答することができないと思われる。関数や図形の分野を学習するときに、わからない生徒への手立てを数学科全体で検討し、指導方法を模索する必要がある。授業内では、生徒どうしが教え合うといった言語活動を取り入れるなど、それぞれの教員が工夫をして指導していく必要がある。また、習熟度別学習を充実させ、基本的・基礎的な学力の定着を図っていく必要がある。

質問紙調査より

〔国語〕 「国語の勉強は好きですか」や「国語の授業の内容はよくわかりますか」という設問に対する「当てはまる」「どちらかといえばあてはまる」という回答が大阪市や全国と比べ低い。このことから国語に対して苦手意識を持っている生徒が多いことが窺える。その苦手意識をなくすために、習熟度別少人数授業を行い、わからない部分を聞いたり、自分の考えを発表したりすることがしやすい授業づくりを行っていく必要がある。

〔数学〕 授業内で興味関心を持たせるような教材・教具などの工夫や、お互いに意見を交流しあい、理解を深めていくことで学力の定着を図っていきたい。教科内での先生どうしの意見の交換にも時間をとり、生徒の学習に対する意欲につなげていきたい。数学が苦手で、「わからない」「できない」という意識を持っている生徒が非常に多い。生徒の実態に合わせた教材研究を行い、「できる」「わかる」という意識を高め、「楽しい」「意欲的に解きたい」という気持ちに生徒を向けていくことが教科の大きな課題である。

## 今後の取組

国語科では、定期的に漢字テストや文法の学習、意味調べなどを行い知識の定着を図ることで、A問題(主として知識)の正答率をさらに上げていけるよう指導していく。また、B問題(主として活用)での記述問題の正答率が低く、無回答率が高いことを鑑みて、記述式の問題に挑戦する機会を多くつくり、文章を正確に読み取り、それに対して論理的に自分の考えを表現できる力を養っていけるよう指導する。そのために計画的に習熟度別少人数授業を取り入れていく。

数学科では、昨年度と同様に基礎・基本の定着を中心に、課題や宿題の提出を徹底することや、試験前の補習や、朝の学習などを通して、基本的な学力の定着を図っていきたい。また、家庭学習の習慣が定着していない生徒が多く、学力を向上するには、学校での学習だけでなく、自主的に家庭でも学習に取り組む姿勢と、環境を整え、時間をつくるようにすることも大切であるため、工夫して指導していきたい。

## 【 全体の概要 】

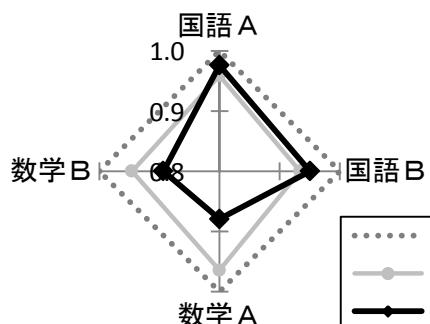
### 平均正答率(%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	73.8	63.2	54.7	39.4
大阪市	72.5	62.1	60.0	41.7
全国	75.6	66.5	62.2	44.1

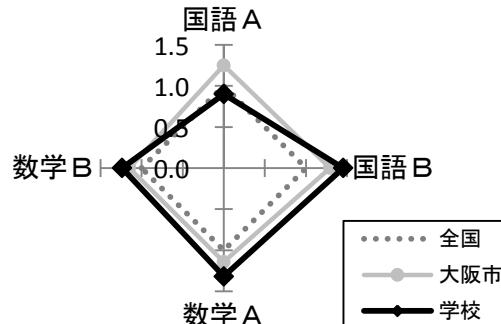
### 平均無解答率(%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	1.8	6.4	8.3	18.2
大阪市	2.5	5.7	7.2	16.9
全国	2.0	4.4	6.3	14.7

平均正答率(対全国比)



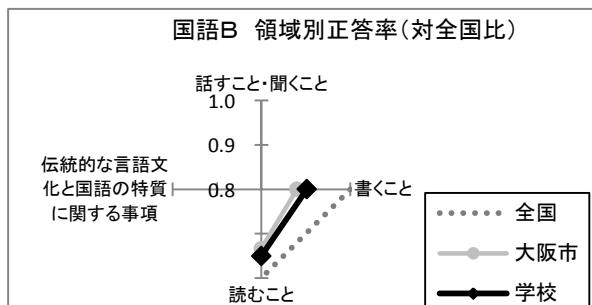
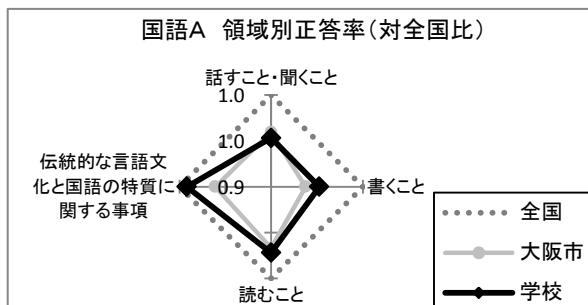
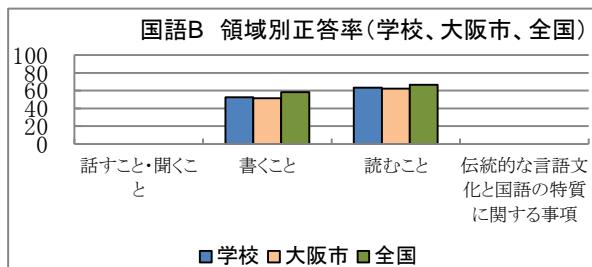
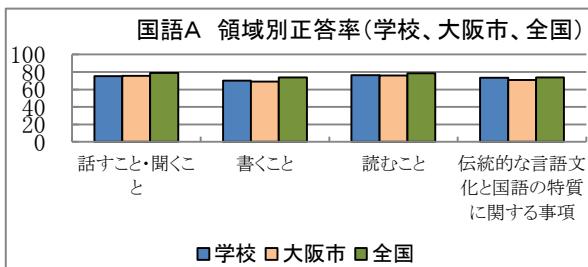
平均無解答率(対全国比)



## 【 国語 】

A 問題		平均正答率(%)			
	学校	大阪市	全国		
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	6	75.2	75.7	78.9
	書くこと	4	70.2	69.1	73.7
	読むこと	6	76.4	76.0	78.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	17	73.3	71.0	73.9

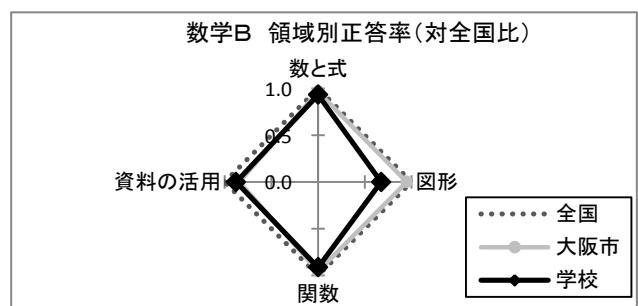
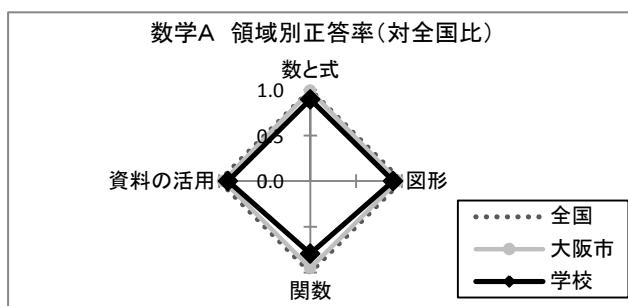
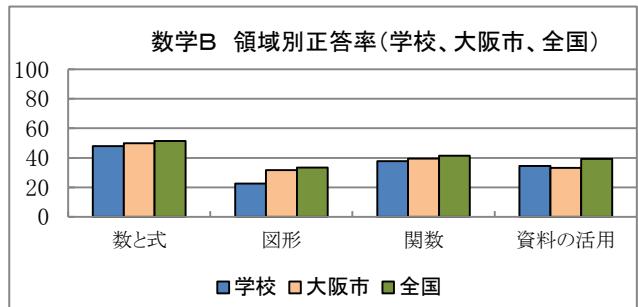
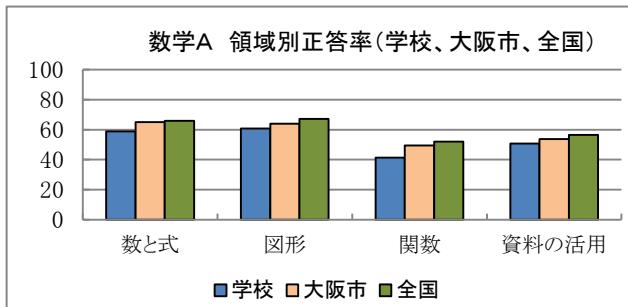
B 問題		平均正答率(%)			
	学校	大阪市	全国		
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	—	—	—	
	書くこと	3	52.6	51.3	58.3
	読むこと	9	63.2	62.1	66.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	—	—	—	



# 【 数 学 】

A 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と式	12	58.9	65.1
	図形	12	60.8	64.1
	関数	8	41.3	49.4
	資料の活用	4	50.8	53.7

B 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と式	6	48.0	49.8
	図形	2	22.5	31.6
	関数	5	37.8	39.5
	資料の活用	2	34.5	33.1



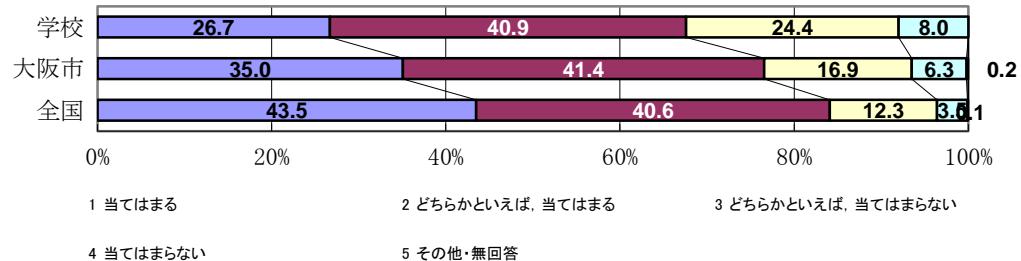
## 生徒質問紙より

■ 1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 □ 7 □ 8 □ 9

質問番号  
質問事項

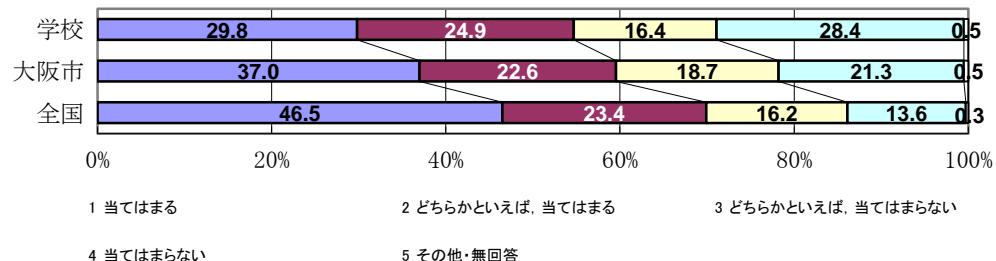
48

1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか



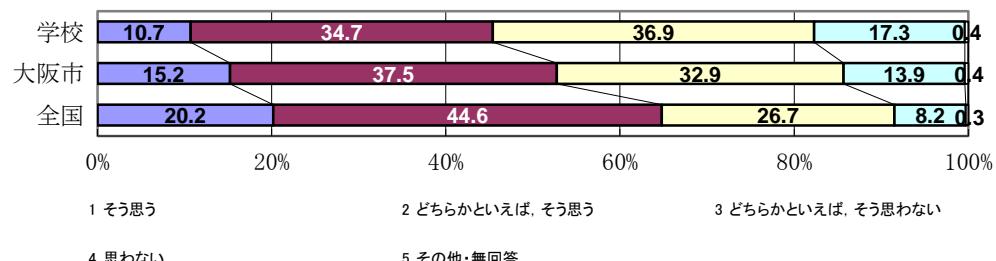
64

読書は好きですか



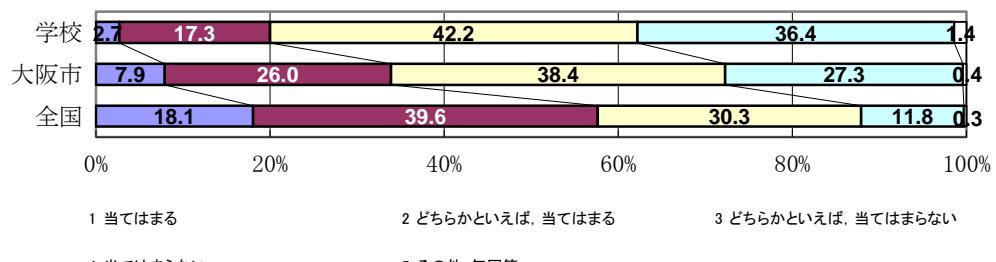
59

生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか



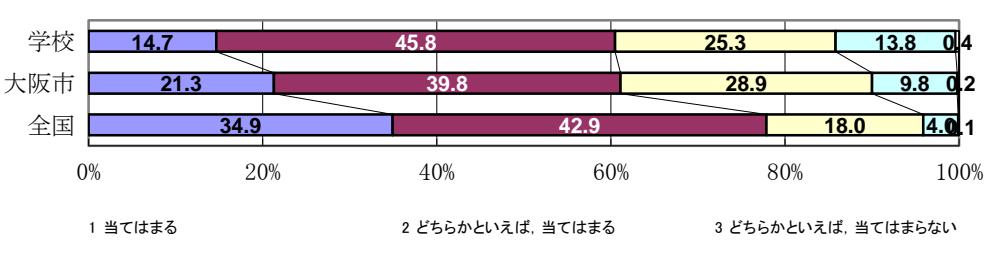
46

「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



49

1, 2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか



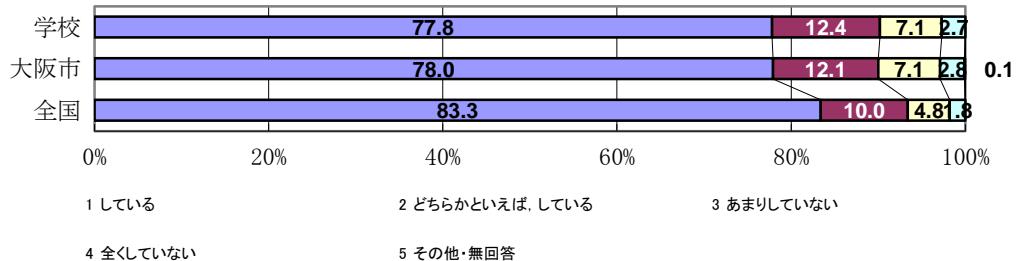
# 生徒質問紙より

■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8 ■ 9

質問番号
質問事項

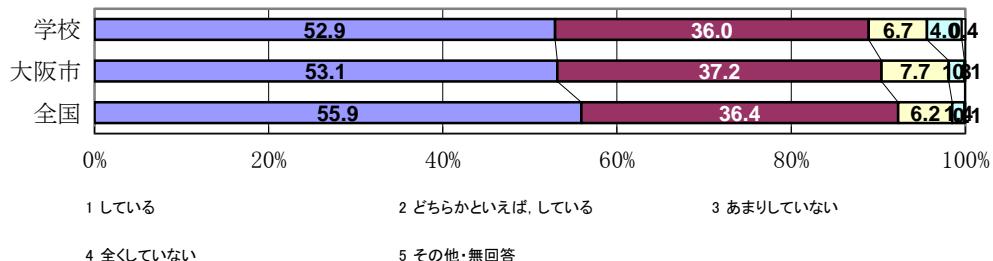
1

朝食を毎日食べていますか



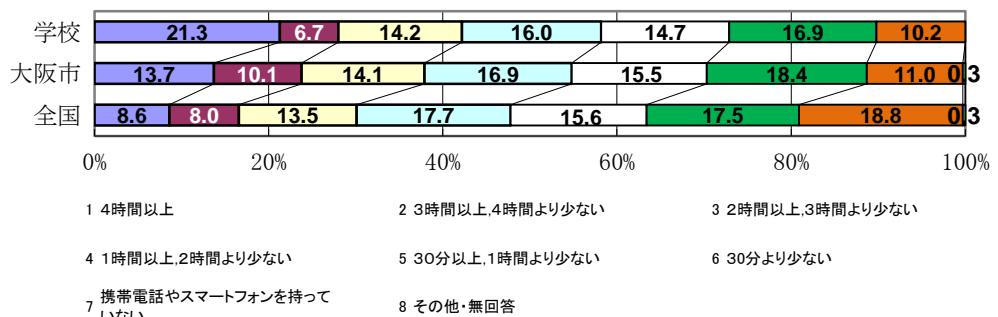
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



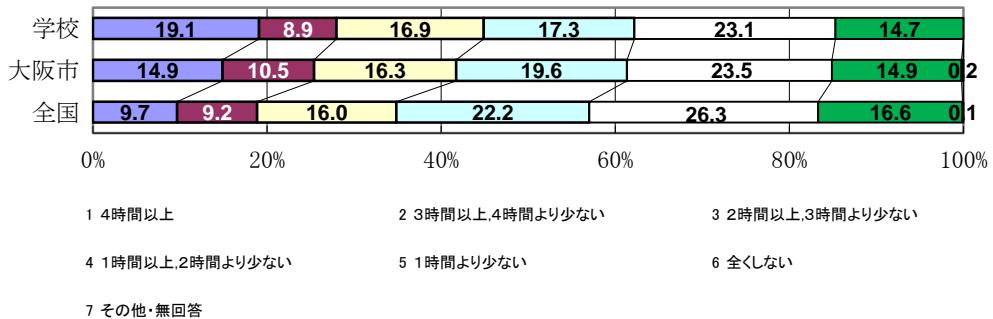
13

普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 携帯電話やスマートフォンで通話やメール, インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)



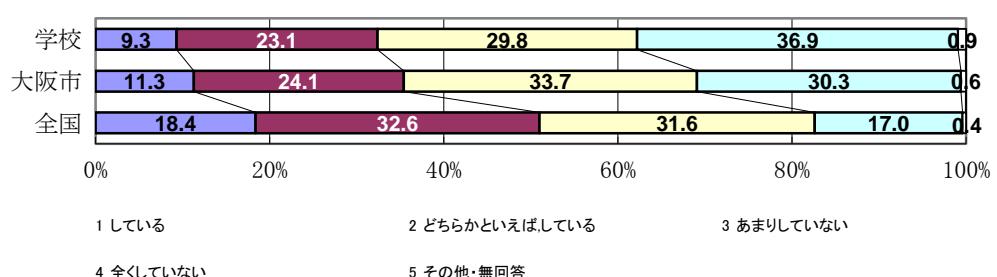
12

普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, テレビゲーム(コンピュータゲーム, 携帯式のゲーム, 携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



24

家で, 学校の授業の復習をしていますか



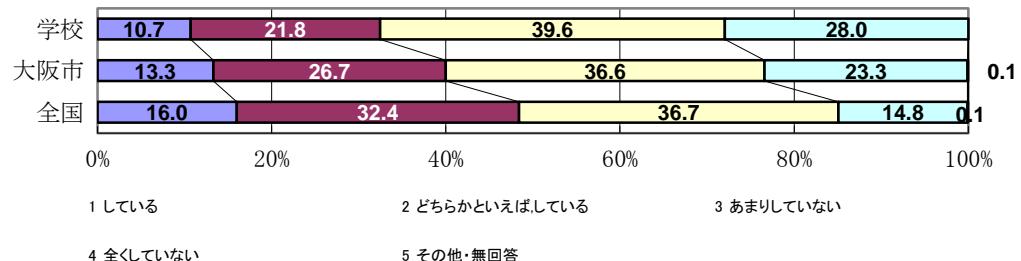
## 生徒質問紙より

■ 1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 □ 7 □ 8 □ 9

質問番号
質問事項

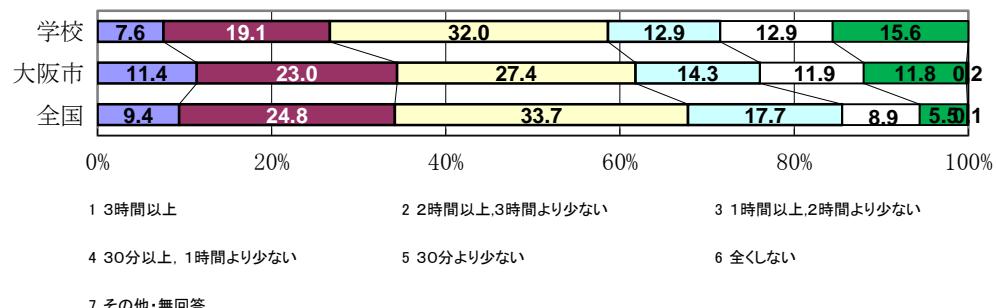
21

家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



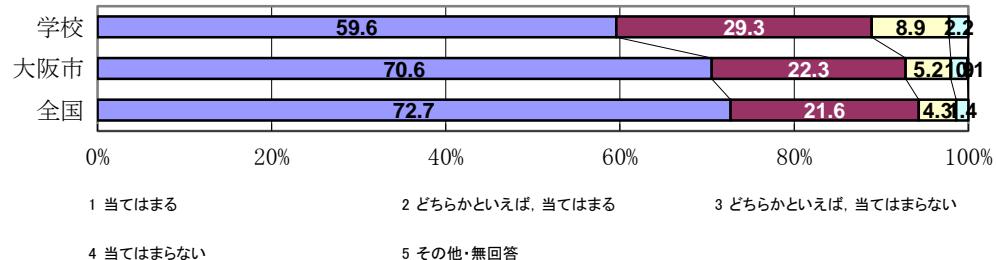
14

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)



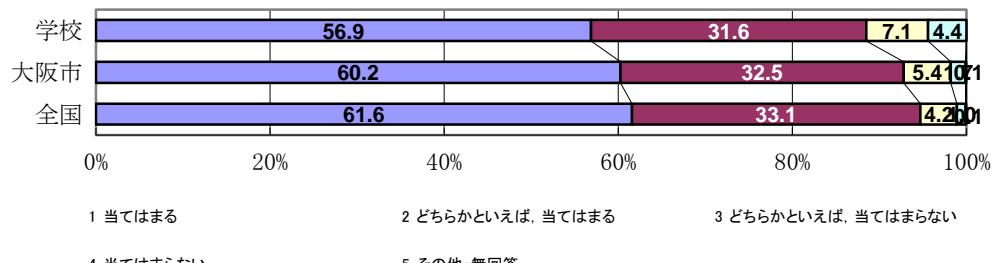
4

ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか



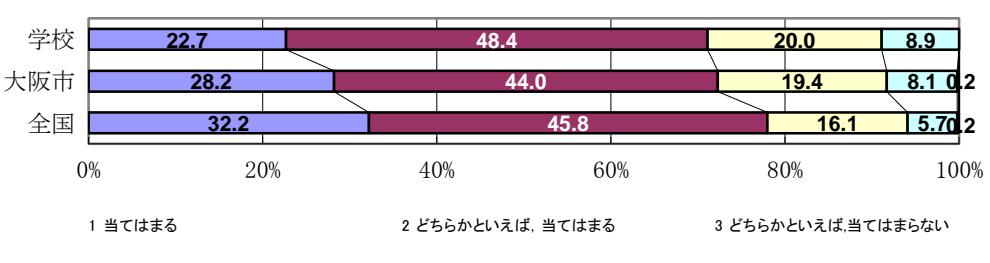
39

学校の規則を守っていますか



32

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



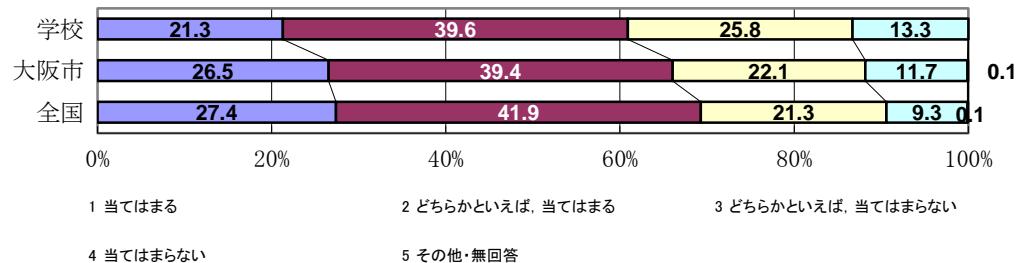
## 生徒質問紙より

■ 1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 □ 7 □ 8 □ 9

質問番号
質問事項

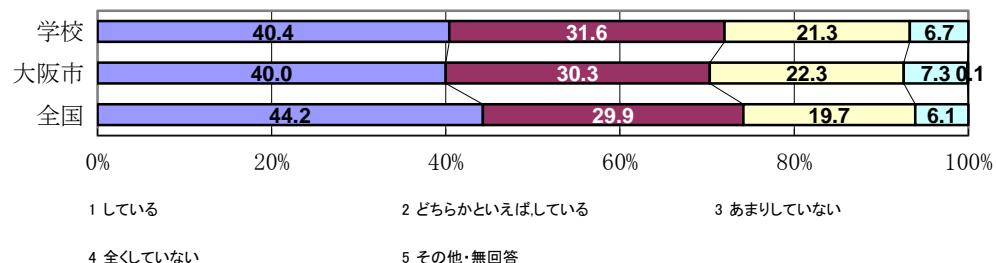
6

自分には、よいところがある  
と思いますか



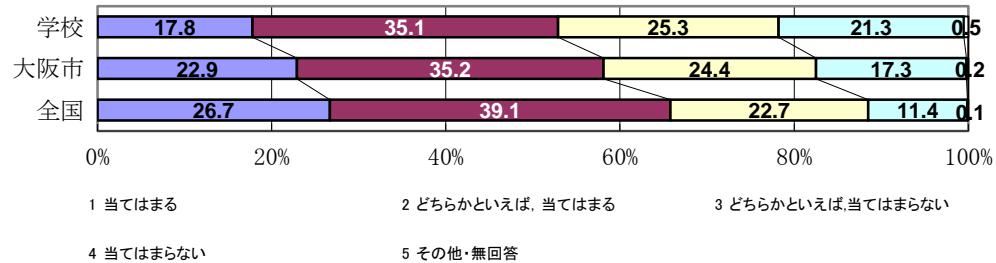
19

家人の人(兄弟姉妹を除く)と  
学校での出来事について  
話をしますか



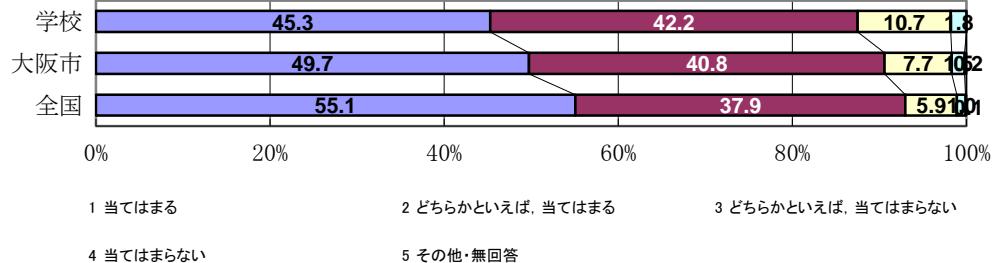
35

地域や社会で起こっている  
問題や出来事に関心がありますか



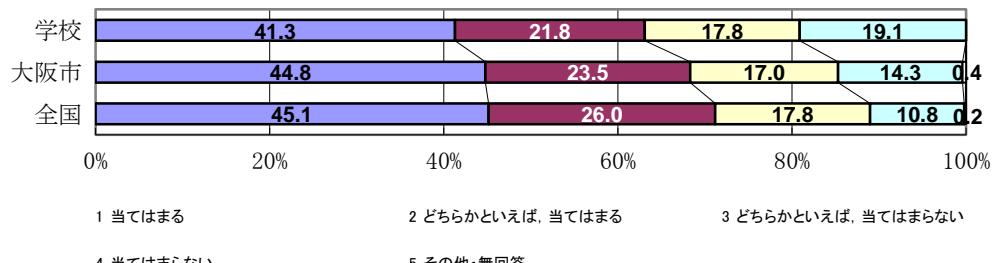
8

友達と話し合うとき、友達の  
話や意見を最後まで聞くこ  
とができますか



9

将来の夢や目標を持って  
いますか



## 学校質問紙より

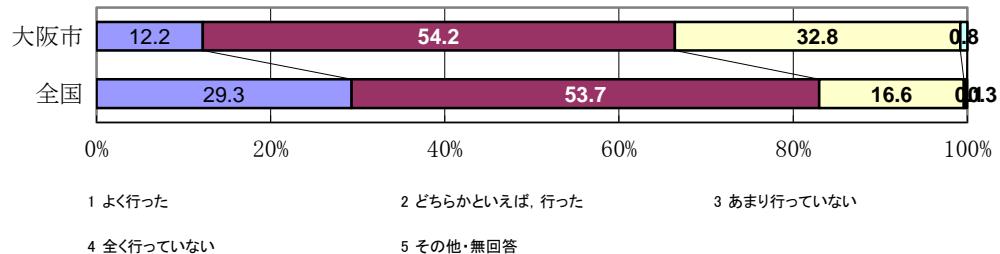
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号  
質問事項

43

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか

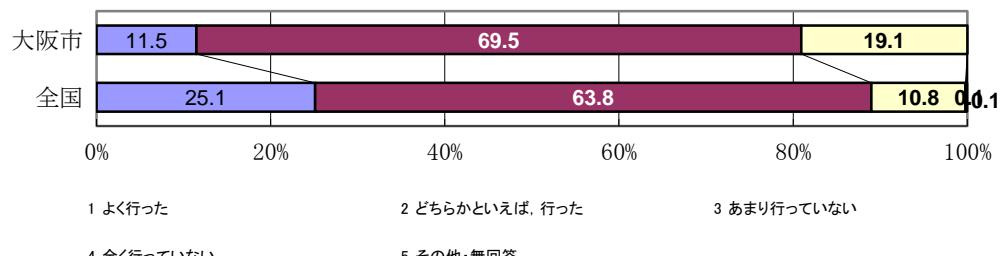
### 学校 「あまり行っていない」を選択



38

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか

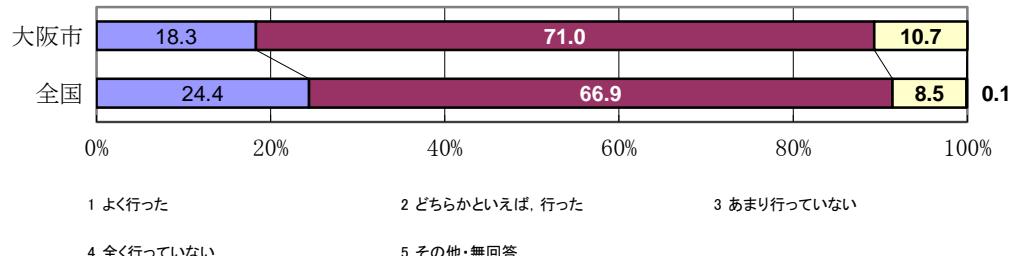
### 学校 「あまり行っていない」を選択



47

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか

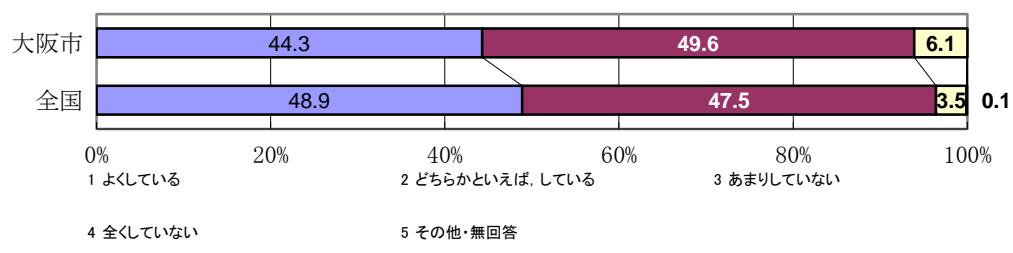
### 学校 「あまり行っていない」を選択



113

学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか

### 学校 「どちらかといえば、している」を選択



107

授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか

### 学校 「年間5回から6回」を選択

